

以下、本文-----

新型コロナウイルス感染症の入院時点での病型と合併症に関する疫学研究

1. 研究の対象

2020年4月1日～2023年12月31日までに当院でCOVID-19と診断された、あるいは他院で診断され当院に入院した方。

2. 研究目的・方法

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)はウイルス株の変異や人流、ワクチン接種などにより各流行期において様々な病像、合併症を呈することが知られている。2021年に主流であったデルタ株においてはウイルス性肺炎が多く見られたのに対して、現在主流であるオミクロン株においては肺炎自体は頻度が少ないとされている。しかしながら、ウイルス性肺炎などCOVID-19の重症度以外にも様々な理由で入院加療が必要となる患者は流行の度に増加しており医療逼迫に拍車をかけている。高齢者においては発熱によるADLの低下から、誤嚥性肺炎を併発する例も散見され、それ自体が入院理由であることも少なくないが、高齢者におけるこれらの合併症の頻度は明らかになっていない。そこで超高齢化県である高知県でのCOVID-19患者の病歴、診断時CT画像および検査所見を用いて、COVID-19以外の気道感染症を中心とした合併症の有無を評価する。

研究期間は、倫理委員会承認日～2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ上の情報：病歴、治療歴、既往歴、検査所見、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供は予定しておりません

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL : 088-866-5811

研究責任者

高知大学医学部 臨床感染症学講座

助教 荒川 悠

-----以上